

特集

日常診療で見落としたくない神経疾患

I 説明しにくい症状・軽度の兆候のみのため見逃がされやすい疾患

1. 不随意運動・錐体外路兆候西田 裕哉
2. ミオクロヌス森田 孝次
3. 睡眠障害が前景に立つうつ病原田 謙
4. チック症星野 恭子
5. 軽度の神経発達症・発達障害下郷 幸子
6. 軽度の知的障害（神経発達症を除く）稲垣 真澄

II 新たな診断・治療が可能となった疾患

7. ドラベ症候群菊池健二郎
8. 脊髄性筋萎縮症水野 朋子
9. 神経線維腫症 1 型武内 俊樹
10. Pompe 病福田冬季子
11. 先天性サイトメガロウイルス感染症森岡 一朗

● 総説

- 小児における超音波ガイド下血管穿刺渡邊 文雄

● 症例

可逆性脳梁膨大部病変を伴う軽症脳炎・脳症を合併した

- 小児多系統炎症性症候群の一例久保 昂司
- 一過性の筋炎症状を呈したマイコプラズマ感染症の 1 例川村 陽一
- 小児腎膿瘍の 1 例横山 宏司

● [連載] 事例でわかる 臨床研究入門

- 第 5 回 小児を対象とした研究における倫理的葛藤川口 敦

● [連載] 最近の外国業績より

- 神経日本医科大学小児科学教室

(編集の都合により、一部変更される場合があります)